

2学期がはじまりました

長い夏休みが終わり、本日から2学期が始まりました。夏休み中は、大きな事故等もなく、本日、無事に2学期をスタートできたことを嬉しく思っています。

子どもたちは、ご家庭や地域でそれぞれに楽しく過ごしたと思います。保護者の皆様におかれましては、宿題の丸つけやご支援、ご家庭での団らんなどお子様と過ごす時間を大切にしてくださったことに感謝申し上げます。

さて、連日熱中症警戒アラートが発表されるなど、猛暑が続いています。夏休み明け、子どもたちの体力が落ちていることも考えられます。

学校でも、より一層熱中症対策を徹底してまいります。ご家庭でも、「早寝、早起き、朝ご飯」を心がけ、子どもたちが元気に登校できますようよろしくお願いいたします。

2学期も子どもたちが安心して通える学校づくりに、職員一丸となって努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、1学期同様、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。



家庭における子どもたちの見守りをお願いします

長い休みの後で、気持ちが整わないまま新学期を迎えた子どもたちもいるのではないかと思います。そこで、福岡県教育委員会が不登校対策強化事業として作成したリーフレット「保護者のアクション3」を裏面に載せております。家庭で気を付ける未然防止のアクションや、早期発見・早期対応のアクションなど、家庭や学校が取り組むことについて書いてあります。お子さんの変化に気付くための参考にしてください。また、ご相談されたいことなどがありましたら、学校へご連絡ください。

夏休み作品展について

9月5日(木)8:45~12:15に夏休み作品展の保護者観覧日を設けています。展示場所は

1年生:理科室(特別教室棟3階)、2年生:家庭科室(特別教室棟3階)

3年生:多目的室2(特別教室棟1階)、4~6年生:体育館

です。多数の観覧をお待ちしております。

くわしくは、8月20日配信のメール添付文書および本日配付の文書をご確認ください。なお、駐車場はありませんのでお車での来校はご遠慮ください。



9月11日(水)の下校時刻について

9月11日(水)は、糟屋地区(古賀市・糟屋郡)全ての小・中学校の教職員を対象として、授業技術の向上を図り、児童・生徒の学力定着をめざして、一斉授業研究会を開催いたします。本校職員も研修会参加のため、児童の下校時間を変更いたしますのでお知らせします。下校時の安全面については十分配慮いたしますが、下校時刻の確認をお願いいたします。

9月11日(水)の下校時刻:13:20

学校から発出する文書のペーパーレス化について

学校および各ご家庭でもデジタル化が普及している状況を踏まえ、本校でも省資源化及び事務効率化の観点から、学校からの配付物の一部についてペーパーレス化を促進してまいりたいと考えております。

その試行段階として、2学期に配付する大部分の文書につきましては、従来通りの紙媒体での配付とメールでの一斉配信を行います。状況を見て、ペーパーレス化の時期を判断したいと思います。ただし、学級通信や児童個々への通知などにつきましては、メール配信の対象とはいたしません。

保護者のみなさまには、何卒ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、本件につきましては、12月のPTA運営委員会でも協議していただく予定です。

8・9月の主な行事予定 (現時点での予定ですので、変更の可能性があります)

28	水	2学期始業式 短縮4時間 今奈良 SC	14	土	
			15	日	
29	木	短縮4時間 発育測定5年・2年 今奈良 SC	16	月	敬老の日
			17	火	
30	金	給食開始 発育測定4年・3年	18	水	くすの木語りの会(6年)
31	土		19	木	くすの木語りの会(6年) 今奈良 SC 地域集会(駅前区・よつば区)
1	日				
2	月	発育測定6年・1年 今奈良 SC	20	金	くすの木語りの会(5年) 地域集会(上府区・緑ヶ浜区・駅西区)
3	火		21	土	
4	水	夏休み作品展(児童)	22	日	秋分の日
5	木	夏休み作品展(保護者) 今奈良 SC	23	月	振替休日
6	金	委員会活動	24	火	くすの木語りの会(5年)
7	土		25	水	くすの木語りの会(4年) 代表委員会
8	日		26	木	今奈良 SC
9	月	佐藤 SC	27	金	くすの木語りの会(4年) クラブ活動
10	火		28	土	
11	水	児童下校 13:20	29	日	区P指導者研修会
12	木	今奈良 SC 昼の読み聞かせ	30	月	朝の読み聞かせ(3・4年) くすの木語りの会(3年)
13	金	クラブ活動			

※ SC: スクールカウンセラー

裏面もご覧ください

一人一人の社会的自立に向けた 支援のための家庭の取組

保護者の

ACTION3!! アクション3



福岡県の不登校は増加しています

本県では、不登校児童生徒数は年々増加しており、令和4年度は、15,000人を超え過去最多となりました。

不登校はどの子供にも起こる可能性があります

不登校は、その要因・背景に、学校、家庭、そして社会の様々な問題が複雑に絡み合っており、**特定の子供に特有の問題があること**によって起こるのではなく、**どの子供にも起こる可能性があります**。

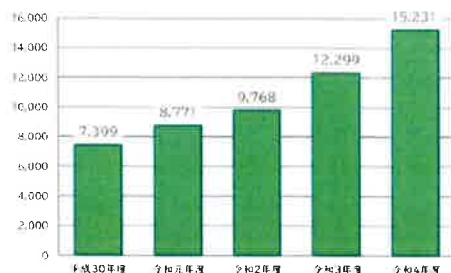
家庭と学校等の協力は大切です

子供のために家庭と学校等が協力し合うことが大切です。登校しぶりがある等、兆候に気づいた段階で学校へ相談しましょう。

また、**学校ではスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー**といった**専門的な知識を有するスタッフと相談**することができます。担任や教育相談担当者等を通じて相談を申し込むことができます。

◆さらに、欠席が続くようであれば、学校に加えて、お住まいの市町村の**教育支援センター**や、市町村や県が設置している**相談窓口**等に相談することもできます。

本県の不登校児童生徒数の推移（国公立小中学校）



不登校の定義

不登校とは、年間30日以上欠席の児童生徒のうち、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくてもできない状況にあること（ただし、病気や経済的な理由によるものを除く）」をいいます

「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より

スクールカウンセラーとは・・・

臨床心理の高度な専門性を有する「心の専門家」です。子供や保護者との相談活動を行います。

スクールソーシャルワーカーとは・・・

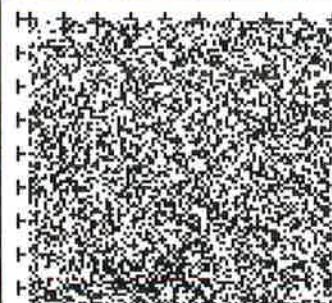
社会福祉士等の「福祉の専門家」です。福祉機関等と協力して子供たちを支援します。

教育支援センターとは・・・

不登校児童生徒が社会的に自立できるように学習や集団への適応等の相談・指導等を行う教育委員会が設置している施設です。

不登校への取組は、**新たな不登校を生まないための取組と不登校になった児童生徒への支援の両方が大切です。**

生活や学びの場である家庭・学校が安全安心な居場所となり、新たな不登校を生まない努力を徹底しながら、不登校の前兆を示すなど初期の段階にある子供の**変化に気づき、早期の対応を迅速かつ的確**に行うことが重要で、これには**家庭・学校の連携が必要**です。そこで、家庭に**具体的にどのように取り組んでいけばよいかをまとめたもの**が、「**保護者のアクション3**」です。ぜひ、家庭と学校の連携を深め、一緒に取り組みましょう。



一人一人の社会的自立に向けた 支援のための家庭の取組

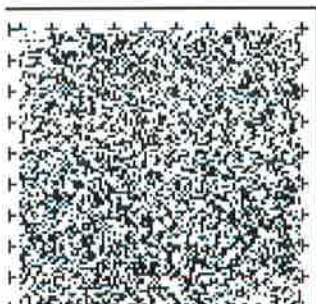
保護者の

ACTION3!!

アクション3

家族で、取り組みましょう！

ステージ1	日常の支援のアクション
アクション1 習慣	<input type="checkbox"/> 早寝・早起きを励行し、顔を見ながら挨拶や声かけをしましょう。 <input type="checkbox"/> しっかり食事を取らせましょう。
アクション2 人間関係	<input type="checkbox"/> 毎日、少しの時間でも、子供と会話をしましょう。 <input type="checkbox"/> 子供に、人間関係をつくる経験を積みませましょう。
アクション3 自尊感情	<input type="checkbox"/> 機会あるごとに「あなたは大切な存在である」ことを伝えましょう。 <input type="checkbox"/> 目標に向けて努力する姿勢や過程を認め、ほめましょう。
ステージ2	早期発見・早期対応のアクション
アクション1 早期発見	<input type="checkbox"/> 遅刻や欠席日数(月に3日の欠席)に敏感になりましょう。 <input type="checkbox"/> 子供の友達関係、遊び、持ち物、服装などに気を配り、ゲーム・携帯電話・スマートフォンなどの利用状況を把握しましょう。
アクション2 早期対応	<input type="checkbox"/> 子供が不調を訴えたら「心配している気持ち」を伝えましょう。 <input type="checkbox"/> 子供の生活リズムに気を配り、規則正しい生活を心がけましょう。
アクション3 学校	<input type="checkbox"/> 日頃から担任等と連絡を取り合い、子供の様子を共有しましょう。 <input type="checkbox"/> 学校生活で不安なことや悩みがないか、さりげなく話をしましょう。
ステージ3	不登校になった場合のアクション
アクション1 受容	<input type="checkbox"/> 子供からの話は気持ちを受け入れ、最後まで聞きましょう。 <input type="checkbox"/> 大きな変化を期待しすぎず、子供の小さな変化を探し、褒めましょう。
アクション2 支援	<input type="checkbox"/> 本人の好きなこと、得意なことから少しずつ関わりましょう。 <input type="checkbox"/> 欠席した日でも規則正しい生活を送るよう心がけましょう。
アクション3 連携	<input type="checkbox"/> 継続的に学校と連絡を取り合い、必要な情報を学校と共有しましょう。 <input type="checkbox"/> スクールカウンセラーなどの専門家や教育支援センター等の関係機関に積極的に相談しましょう。



相談窓口紹介

匿名でも相談できます
秘密は守られます。

家庭で取り組んでいて、
迷ったとき、困ったときには
相談しましょう！

子どもホットライン24
(24時間対応)

0948-25-3434

メールでの相談の場合
hotline24@pref.fukuoka.jp

福岡市こども総合相談センター
(年末年始を除く24時間対応)

092-833-3000

北九州市子ども相談ホットライン
(24時間対応)

093-881-4152

少年サポートセンター
(祝日・年末年始を除く
月～金曜日 9:00～17:45対応)

ハートケア中央 092-833-3000
ハートケア北九州 093-881-7830
ハートケアくるめ 0942-30-7867
ハートケアふくおか 092-841-7830
ハートケアいづか 0948-21-3751